

基礎教育科目

講義科目

授業科目名	経営戦略史	科目コード	配当年次	単位
担当教員	松本 久良	AB22	1	4
科目の概要				
<p>近代経営学の歴史もテイラーがその第一歩を印して以来100年以上が経過している。その間企業経営に関する有用な理論や考え方がさまざま生まれた。</p> <p>本科目は現在に至るこの経営学の史的展開の中で、その歴史を彩った代表的な思想と偉人の足跡をたどるものである。また、それは戦略思想の歴史であるということもできるので、中心は戦略やマネジメントに関する思想ということになる。著名な経営思想に触れることで、経営の理論と実践をより深く理解できるはずである。</p>				
科目の到達目標				
<p>①経営戦略や経営管理を中心とした代表的な経営思想を正しく理解し、経営学の歴史の流れを概観することで、今後の経営学の学習を促進させることができる。</p> <p>②経営思想の流れをつかむことで、経営の理論的側面の理解を強化するとともに、それをもとに実際の企業を分析できる能力をさらに高めることができる。</p>				
テキスト	『経営戦略全史 [完全版]』三谷 宏治, 日経 BP 日本経済新聞出版, 2025年			
テキストの読み方				
<p>①経営思想の歴史的発展プロセスというものを理解するためにも、基本的には順を追って読み進めていくとよい。</p> <p>②プロセスの概略を理解した後は、重要と思われる箇所や関心の高い箇所を中心にピンポイントで読むことも効果的である。</p> <p>③テイラーから現代に至る間の著名な理論について学ぶことが主たる目的であるが、各人の仕事や生活にどう活用できるかという実践面にも留意しながら読むことが大切である。</p>				
単位修得の方法				
<p>①レポート課題（基本・応用）を提出し、それぞれ60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、4単位を修得できる。または、</p> <p>②基本レポートを提出し、60点以上であれば合格となり、スクーリングを受講できる。スクーリングに合格すると、評価が確定し、4単位を修得できる。この場合、応用レポートの提出は不要。</p>				